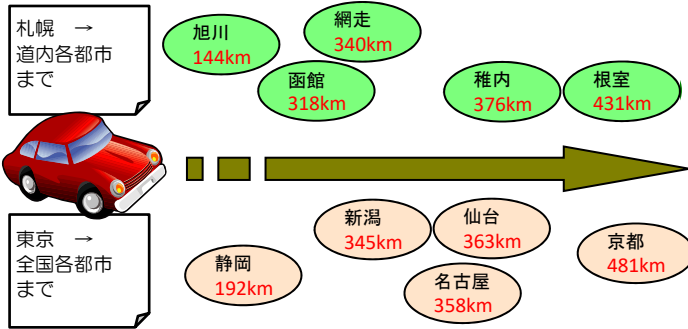


北海道の地域特性と直面する課題

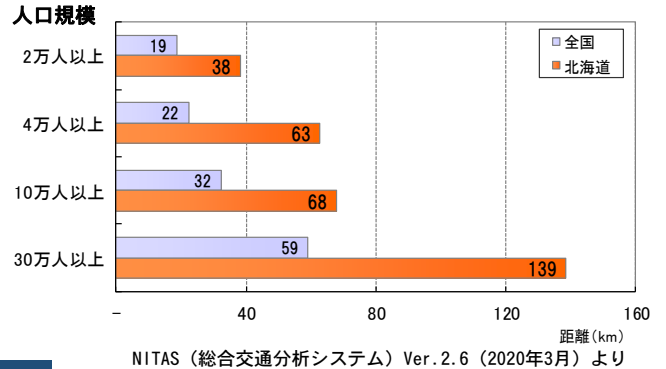
◆広域分散型社会

北海道は全国の22%を占める広大な大地に都市が点在する広域分散型社会であり、都市間距離は全国の約2～3倍になります。

●札幌・東京から各都市までの距離（高速道路経由）



●最寄都市までの平均道路距離



◆積雪寒冷な気候と頻発する自然災害

北海道は全域が積雪寒冷特別地域に指定されてます。道道の通行止め要因の約8割は吹雪や降雪などの雪害となっています。

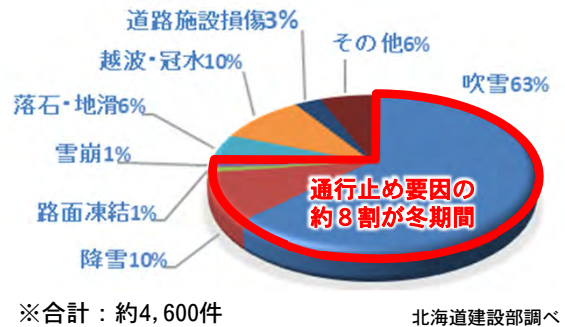
●雪崩発生状況



●令和4年2月大雪の状況



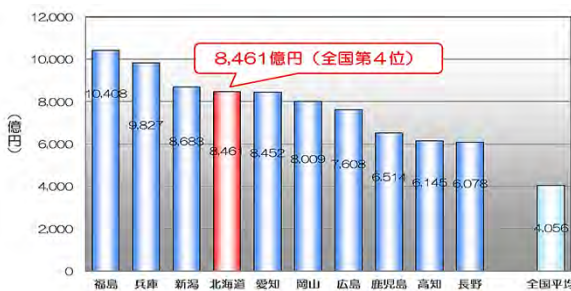
●道道の通行止めの要因 (2012.04～2022.3)



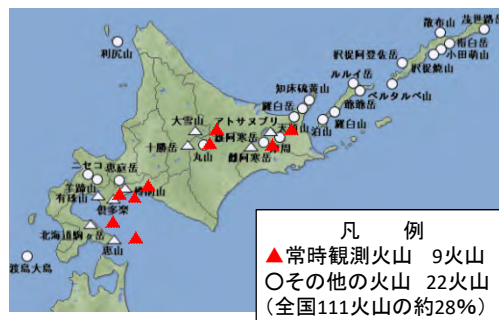
北海道では近年、台風、地震、豪雨など、度重なる大規模な自然災害に見舞われており、過去30年間の水害被害額は、全国第4位となっています。

また、北海道には31(うち北方領土11)の活火山があり、気象庁の常時観測火山の9火山(十勝岳、有珠山、北海道駒ヶ岳など)について噴火警戒レベルが導入されているほか、日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震など巨大地震の発生も懸念されています。

●過去30年間 (1990～2019) の水害被害額 (国土交通省統計資料)



●北海道の活火山 (気象庁HP画像を加工編集)



●北海道胆振東部地震 (平成30年9月)

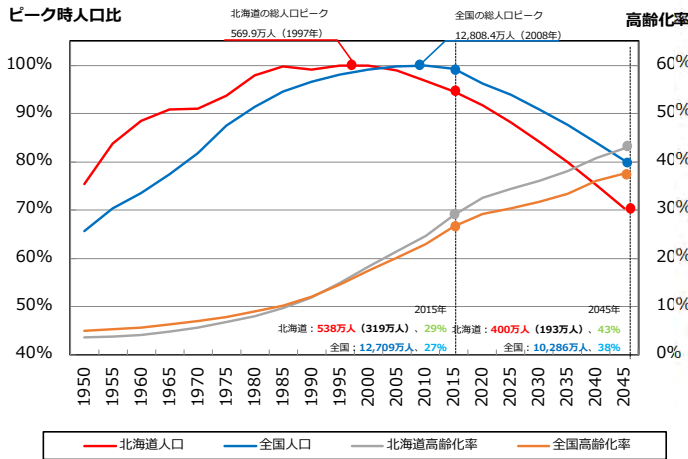


◆人口減少・高齢化の状況

北海道は全国を上回るスピードで人口減少が進んでおり、近い将来、超高齢化の人口構造とも相まって、経済、暮らし、行政などの幅広い分野において深刻な事態になることが危惧されます。

●道内人口の将来推計

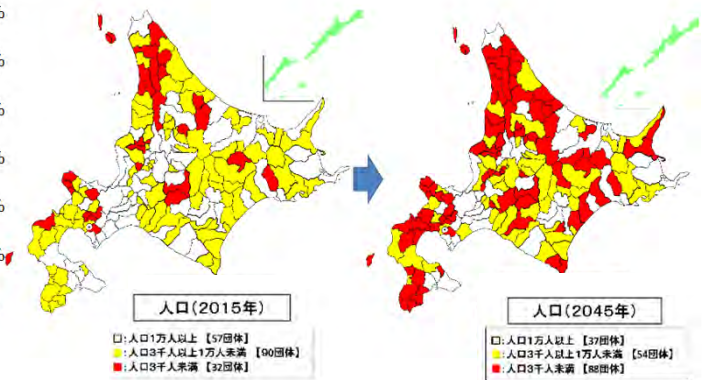
全国を上回るスピードで進む人口減少



【出典：総務省「国勢調査」「人口推計」】

●市町村別人口減少率

2045年には約半数の市町村で人口3千人を下回る



【出典：北海道総合計画(令和3年10月)】

○人口減少・高齢化の影響によって我が国への貢献度の高い本道が担う「生産空間※」の維持が困難となるおそれ。

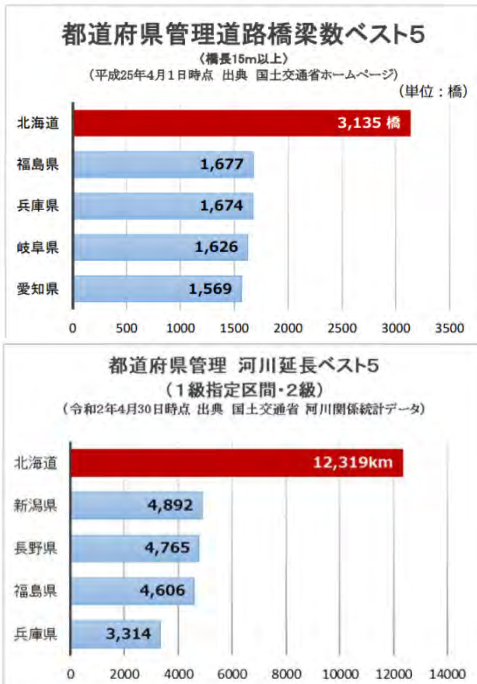
※生産空間：ここでは、主として農業・漁業にかかわる生産の場(特に市街地ではない領域)を指す。
生産空間は、生産のみならず、観光その他の多面的・公益的機能を提供している。

- 地域の安全・安心を担う建設産業に携わる技術者及び技能労働者の確保・育成が困難となるおそれ。
- 人口の減少や高齢化の進行に伴い、適切に管理されない空き家が増加するおそれ。
- 見守りや介護を必要とする高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせなくなるおそれ。

◆社会資本の老朽化

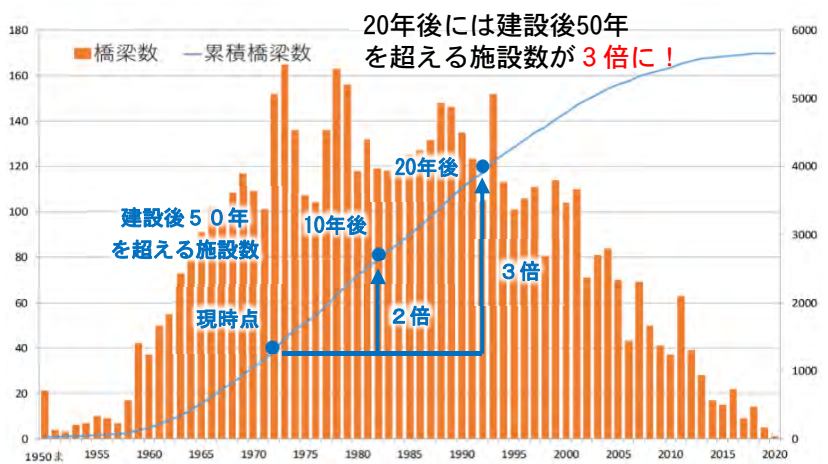
高度経済成長期に整備された大量の社会資本の老朽化が進んでおり、維持管理・更新に要する費用の増大が懸念されます。

●道管理施設の他県との比較



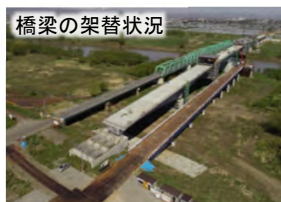
【出典：北海道インフラ長寿命化計画(行動計画)(令和4年3月)】
広大な面積を有する北海道は他府県と比べて管理する公共施設が非常に多い

●道道橋の年別整備量と保有量の推移



【出典：北海道インフラ長寿命化計画(行動計画)(令和4年3月)】

【橋梁の老朽化】



【樋門の老朽化】



増毛稲田線 妹背牛橋(妹背牛町、深川市)

美唄川(美唄市)

令和5年度 社会資本整備に関する要望

防災・減災、国土強靱化



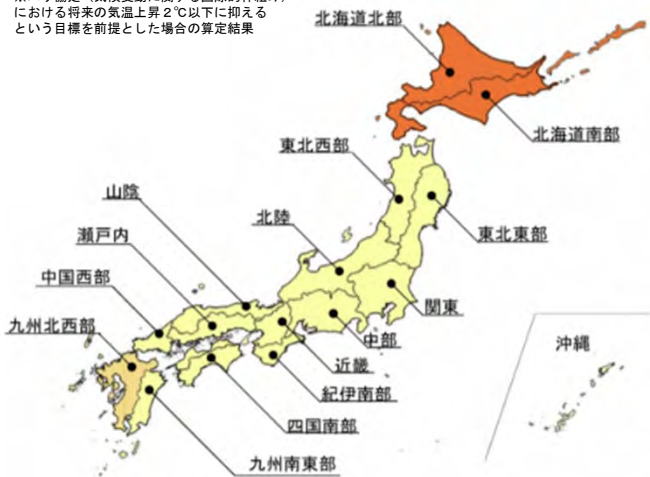
気候変動により激甚化する水害や、切迫する巨大地震等の自然災害に備え、**国土強靱化を推進**するため、**5か年加速化対策予算・財源の確保**や、**流域治水の推進**、**高規格道路のミッシングリンク解消**、**暫定2車線区間の4車線化**など、さらなる強靱化への支援の充実が必要！

■激甚化する風水害や切迫する大規模地震と対策

▼今世紀末時点での降雨量の変化倍率

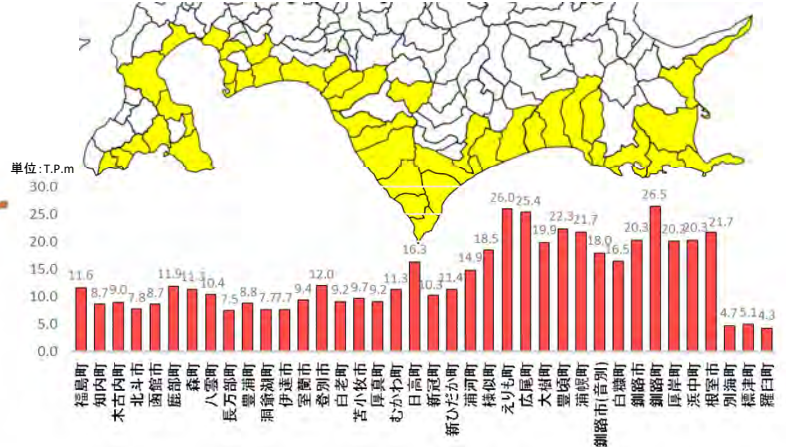
地域区分	2℃上昇	4℃上昇	
		短時間	年間
北海道北部、北海道南部	1.15	1.4	1.5
九州北西部	1.1	1.4	1.5
その他(沖縄含む)地域	1.1	1.2	1.3

※パリ協定(気候変動に関する国際的枠組み)における将来の気温上昇2℃以下に抑えるという目標を前提とした場合の算定結果

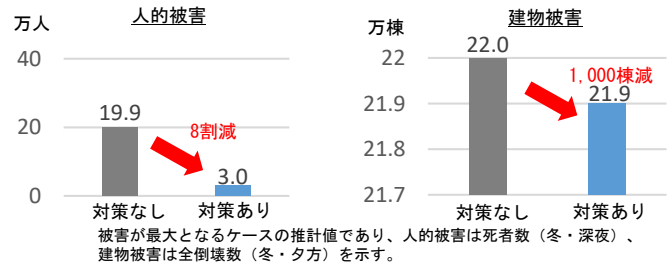


※国土交通省HPより

▼太平洋沿岸で「最大クラスの津波」が発生した場合に想定される最大津波高



▼日本海溝・千島海溝沿いの巨大地震への対策による効果



被害が最大となるケースの推計値であり、人的被害は死者数(冬・深夜)、建物被害は全倒壊数(冬・夕方)を示す。

【治水対策】

▼月寒川(札幌市)



【土石流対策】

▼ペンケオタソイ川(新得町)



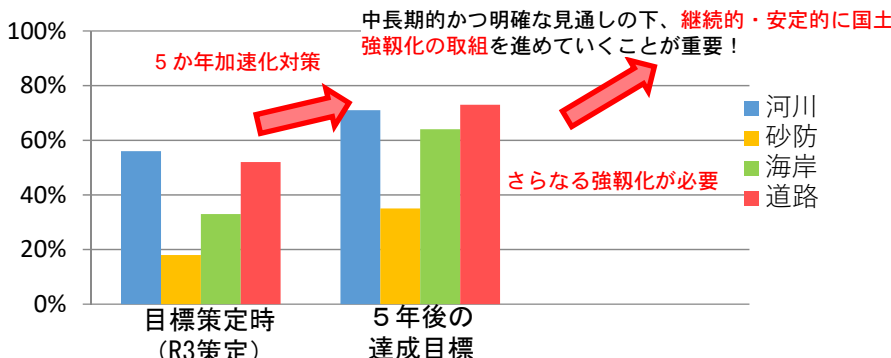
【ミッシングリンク解消】

▼旭川十勝道路(旭川市、東神楽町)



令和4年3月に部分供用開始

▼「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」に関する北海道の中長期目標の達成率



分野	主な対策内容
河川	河道掘削、堤防整備、遊水地の整備等
砂防	砂防えん堤の整備、地すべり対策施設の整備
海岸	堤防高を確保するための対策や消波施設の整備等
道路	橋梁、トンネル、道路付属物等の老朽化対策

◎自然災害に対する北海道自らの脆弱性を克服

「流域治水」の考えに基づき、あらゆる関係者が協働して水災害対策を行うとともに、堤防整備、ダム建設・再生などの治水対策をより一層加速

主な要望箇所

●流域治水の推進

・総合的な治水・利水対策の推進

【石狩川（札幌市など）、千歳川（千歳市など）、十勝川（帯広市など）、天塩川（天塩町など）、幾春別川総合開発事業（三笠市）、雨竜川ダム再生事業（幌加内町）、月寒川（札幌市）、佐幌ダム再生事業（新得町）、利根別川（岩見沢市）、堀株川（共和町）、気門別川（伊達市）、真沼津川（新ひだか町）、イブンベウシ川（鷹栖町）、古丹別川（苫前町）、無加川（北見市）釧路川（釧路市など）、別保川（釧路町）、標津川（中標津町）、安平川（下流工区）（苫小牧市など）】

・高潮・侵食・津波対策などの海岸保全施設整備

【胆振海岸（白老町）、大津海岸（豊頃町）、豊浜海岸（北見市）】

・土砂災害対策施設の整備

【水無沢川（七飯町）、辺別川（美瑛町）、支湧別川（遠軽町）、ペンケオタソイ川（新得町）、ペケレベツ川（清水町）など】

・市街地を流れる河川の浸水対策の推進

【望月寒川（札幌市）、湯の川（函館市）、クサンル川（稚内市）、伏古別川（帯広市）など】

・粘り強い構造の堤防の整備推進～堤防天端舗装

【斜里川（斜里町）、利別川（足寄町など）など】

<道内の流域治水プロジェクト>

- 一級水系流域治水協議会
- 一級と二級水系が連携した流域治水協議会
- 河川名 一級協議会に参画した二級水系
- 河川名 二級単独で協議会を持つ水系



▼流域治水協議会



<二級水系安平川での対策事例>

▼河道掘削等の河川整備



▼治山ダムの整備



▼植栽等の森林整備



▼農業排水路の整備



注：河川及び振興局界を簡略化して記載

流域治水の取組状況 (R4. 3)